2019年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

# 要請番号（JL54819B17）

募集終了

| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| タンザニア | H131 栄養士 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2020/1・2020/2・2020/3 |

## 【配属機関概要】

**1）受入省庁名（日本語）**

外務省

**2）配属機関名（日本語）**

国際連合世界食糧計画(WFP)ドドマ・サブオフィス

**3）任地（ ドドマ州ドドマ市 ） JICA事務所の所在地（ ダルエスサラーム ）**

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機+ﾊﾞｽ で 約 3.0 時間 ）

**4）配属機関の規模・事業内容**

1963年に国連機関として設立されて以来、最大規模の人道支援機関の一つとして、武力紛争・自然災害等によって避難民・難民となった人々への食糧支援を行っている。WFPタンザニア事務所は、Country Strategic Plan(2017-21)を策定し、難民支援、栄養改善、小規模農家支援、国家食糧供給システム強化支援の四つのプログラムを柱として、NGOをはじめとするパートナーとともに、種々の事業を実施している。中でも、母親や子供の慢性的な栄養失調改善を重視しており、食糧配給のみならず、学校給食、農業作物の多様化、タンザニア政府に対する栄養改善にかかる指針の作成支援等を実施している。

## 【要請概要】

**1）要請理由・背景**

隊員はドドマで実施中の「母子の栄養と健康改善支援事業」に携わる予定。本プロジェクトは事務所があるドドマ県内のドドマ郡及びシンギダ郡が対象地域である。本プロジェクトは、子供・妊婦・授乳中の母親を対象に、栄養失調の予防、治療・栄養に関する知識の供給・栄養素に着目した農業の多様化を推進している。それ以外にも、栄養失調のリスクにある人々に対し、栄養価の高い食物の供給にも力を入れている。隊員は栄養士として医療施設を巡回し、WFPが配布している治療用の食品等の消費、管理、治癒の状況等を評価、分析し、適切な助言をする事が求められている。

**2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）**

実施中の栄養関連プロジェクトにかかる下記の支援を実施する。
1.対象地域の医療施設を巡回し、配布された食糧のモニタリングを行う。
2 対象地域の医療施設を巡回し、栄養改善状況を確認し、調整する。
3 .栄養関連プロジェクトのマンスリーレポートの作成支援。
4 .母子栄養改善プロジェクトのモニタリング評価支援。
5 栄養関連プロジェクト関係者ミーティングの開催支援

**3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等**

PC, コピー機、村落巡回用車両

**4）配属先同僚及び活動対象者**

WFPドドマ・フィールド事務所
事務所長(40代女性)を筆頭に約17名のスタッフが勤務。栄養プログラムは、国際NGOのSave the Children及び県庁の農業オフィサーと栄養オフィサー等と協働予定。
活動対象者:WFPからの栄養サポートを受けている、妊婦及び2歳児以下の乳児とその母親。

| 5）活動使用言語 | 6）生活使用言語 | 7）選考指定言語 |
| --- | --- | --- |
| スワヒリ語 | スワヒリ語 | 英語(レベル:A) |

## 【資格条件等】

[免許]：（栄養士）

[学歴]：（大卒）　備考：配属先が希望しているため

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（実務経験）2年以上　備考：実務的な応用が活動上必要なため

**任地での乗物利用の必要性**

自転車

## 【地域概況】

[気候]：（ステップ気候）　気温：（15～20℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[水道]：（不安定）

## 【特記事項】

入居する住居は村落部となる。赴任の数か月前より調査・選出するため、電気・水道については確かな記載ができないため「不安定」としている。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.